

① 名前シール

[この欄に氏名] 名前を記入

フリガナ		フリガナ	
姓		名	

[この欄に] 会場番号シールを貼付、ない場合は名前を記入

② 座席番号シール

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※この欄に座席番号シールを貼付、ない場合は名前を記入

n は 2 以上の整数とする。 $3n$ 本のうち 3 本が当たり、 $(3n-3)$ 本がはずれであるくじがある。 A, B, C の 3 人が、 A から始めて A, B, C, A, B, C, …… の順に 1 本ずつくじを引いていき、 3 本目の当たりくじを引いた人を勝者とするゲームを行う。 ただし、引いたくじはもとに戻さないものとする。 このとき、次の問いに答えよ。

- k 本目 ($k \geq 3$) のくじを引くまでに (3 人の引いたくじの本数の合計が k となるまでに)、勝者が決まる確率 p_k を求めよ。ただし、ちょうど k 本目のくじを引いたとき、勝者が決まる場合を含む。
- ちょうど k 本目 ($k \geq 3$) のくじを引いたとき、勝者が決まる確率 q_k を求めよ。
- A, B, C が勝者となる確率をそれぞれ a, b, c とするとき、 $a+c$ と $2b$ はどちらが大きいのか。

①
$$p_k = \frac{{}_3C_3 \times {}_{3n-3}C_{k-3}}{{}_3nC_k}$$

求める確率は、
くじを k 本引くとき、3本の当たりくじを全て引く確率に等しいことが押さえられたね。 (Good!)

$$= \frac{(3n-3)!}{(k-3)! \{(3n-3)-(k-3)\}!} \times \frac{k!(3n-k)!}{(3n)!}$$

立式・計算は (OK)

$$= \frac{(3n-3)! \cdot k! \cdot (3n-k)!}{(k-3)! \cdot (3n-k)! \cdot (3n)!}$$

$$= \frac{k(k-1)(k-2)}{3n(3n-1)(3n-2)} //$$

最初に

「引き方の総数は、 ${}_3nC_k$ 通り。
このうち、3本の当たりくじをすべて引く引き方は、 ${}_3C_3 \times {}_{3n-3}C_{k-3}$ 通りであるから」と説明してから、確率を立式しよう。

記述のポイント

どのように考えて立式したのか、考え方を述べておこう！考え方にミスがないか、後で見直すときに役に立つよ。

②
$$q_k = p_k - p_{k-1}$$

$$= \frac{k(k-1)(k-2)}{3n(3n-1)(3n-2)} - \frac{(k-1)(k-2)(k-3)}{3n(3n-1)(3n-2)}$$

$$= \frac{(k-1)(k-2)\{k-(k-3)\}}{3n(3n-1)(3n-2)}$$

(ちょうど k 本目に勝者が決まる確率)
= (k 本目までに勝者が決まる確率)
- ($(k-1)$ 本目までに勝者が決まる確率)

と考えたのは (Good!) このように考えると

$$= \frac{(k-1)(k-2)}{n(3n-1)(3n-2)} //$$

答えは OK

(1) で求めた p_k の式が利用できるね。

ただし、項数に注意！
($k-1$) 本目を考えていることから以下のように場合分けが必要だ。

(1) で求めた p_k は、 $k \geq 3$ のときに成り立つ式だから、
 $q_k = p_k - p_{k-1}$ においては、 $k-1 \geq 3$ つまり、 $k \geq 4$ でないといけない。

よって、 $k=3$ のときは、 $q_3 = p_3$ であることに注意して q_3 を求めよう。
そして、 $k \geq 4$ のときの q_k の式で、 $k=3$ とおいたものと一致するかどうか確認して、
答えをまとめよう。

① 資料入力

[本問] 解答欄に記入	
フリガナ	フリガナ
姓	名

※解答欄に「全問番号」を記入し、正しい場合は全問を記入

② 解答欄

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※解答欄に「全問番号」を記入し、正しい場合は全問を記入



$$(3) \quad a = 8_4 + 8_7 + \dots + 8_{3n-2}$$

$$= \sum_{m=1}^{n-1} 8_{3m+1} = \sum_{m=1}^{n-1} \frac{3m(3m-1)}{n(3n-1)(3n-2)}$$

(2)の結果を利用して、A,B,Cが勝者になる確率をΣで正しく表せたね。Good!

$$b = 8_5 + 8_8 + \dots + 8_{3n-1}$$

$$= \sum_{m=1}^{n-1} 8_{3m+2} = \sum_{m=1}^{n-1} \frac{(3m+1) \cdot 3m}{n(3n-1)(3n-2)}$$

$$c = 8_3 + 8_6 + \dots + 8_{3n}$$

$$= \sum_{m=1}^n 8_{3m} = \sum_{m=1}^n \frac{(3m-1)(3m-2)}{n(3n-1)(3n-2)}$$

ここでも項数に注意! 【★1】

$$a+c = \sum_{m=1}^{n-1} \frac{3m(3m-1)}{n(3n-1)(3n-2)} + \sum_{m=1}^n \frac{(3m-1)(3m-2)}{n(3n-1)(3n-2)}$$

ここまではOK

$$= \sum_{m=1}^{n-1} \frac{9m^2 - 3m + 9m^2 - 9m + 2}{n(3n-1)(3n-2)} = \sum_{m=1}^{n-1} \frac{18m^2 - 12m + 2}{n(3n-1)(3n-2)}$$

$$2b = 2 \sum_{m=1}^{n-1} \frac{(3m+1) \cdot 3m}{n(3n-1)(3n-2)} = \sum_{m=1}^{n-1} \frac{18m^2 + 6m}{n(3n-1)(3n-2)}$$

a+cの計算ミス 【★2】

これはOK

$m \geq 1$ だから $18m^2 - 12m + 2 < 18m^2 + 6m$

よって $a+c < 2b$ // (答) $2b$ より $a+c$ の方が大きい ($a+c > 2b$)

【★1】 a は、 $m=1$ から $m=n-1$ までの和だけれど、 c は、 $m=1$ から $m=n$ までの和だよ。

【★2】 c が1項多いことに注意して、もう一度計算してみよう。次のようになるよ。

$$\sum_{m=1}^{n-1} \frac{9m^2 - 3m + 9m^2 - 9m + 2}{n(3n-1)(3n-2)} + \frac{(3n-1)(3n-2)}{n(3n-1)(3n-2)} \leftarrow m=n \text{ のとき}$$

方針はよかったけれど、 $a+c$ はΣ以外の項も出てくるから、単純に比較できない。
 $a+c-2b$ を計算して、その符号を調べよう。

意圖大を教えてください

ひとこと

できた!

前問の結果を用いて正しく方針を立てることができたね! ただ、 c は $m=n$ までの総和であることを見落としたのが惜しかった! 今後はこの部分にも注意しながら計算していけるとよいね。

赤ペン先生からきみへ アドバイスシート

【総評】 (1)では、「 k 本目のくじを引くまでに勝者が決まる確率」を場合の数が求めやすいように読みかえて考えているのがよかったです。(2),(3)では、前問の確率を利用して考えることができましたね。ただ、(3)は計算ミスが惜しかった！もっと簡単に解ける別解を示しておきましたので、復習してみてくださいね。「起こり得るすべての場合の確率の和は1」という性質は、確率の問題を解く上で重要なポイントになることが多いので、使えるようにしておきましょう。

(3) 【別解】

a, b, c の値すべてを求める計算は大変だね。
ひと工夫することで、計算の手間を省くことができるよ。

大小比較は、差を取って、符号を調べる のが基本だね。

ここでは、 $(a + c) - 2b$ の符号を調べるとよいが、次の条件を利用すると、計算が軽減されるよ。



A, B, Cのいずれか1人が必ず勝者になるから、
 $a + b + c = 1$

これを利用すると、 $a + c = 1 - b$ だから、

$$(a + c) - 2b = 1 - 3b$$

となるので、 $1 - 3b$ の符号を調べればよいことになる。

キミは正しく

$$b = q_5 + q_8 + \cdots + q_{3n-1} = \sum_{m=1}^{n-1} q_{3m+2}$$

を求めていたね。それを $1 - 3b$ に代入して整理し、 $n \geq 2$ であることに注意して、その符号を調べてみよう。